

令和5年第12回教育委員会議事録

開催日時 令和5年12月22日（金）
午前9時30分～午前11時05分

場 所 楽習館多目的ホール

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 田 口 理 恵

事務局出席者 教育総務部長 千 葉 靖 志
学校教育部長 猪 原 誠 一
学校教育部副部長 高 橋 大 祐
教育総務課長 柳 町 貴 栄
社会教育課長 小 林 勝 已
文化財保護課長 高 山 治
学 務 課 長 山 内 修

指導課長兼小中一貫教育推進室長
和 田 進

学校 ICT 推進課長 松 本 啓 介

教育総務課庶務係長 関 根 郁 也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和5年第11回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

な し

4. 市内小学校の児童に関する報告 [説明者 和田指導課長兼小中一貫教育推進室長]

○井上教育長

本件は個人情報に関する報告となるため、秘密会とするべきと考えます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により秘密会となる。]

5. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育総務部長

(1) 令和5年第4回八潮市議会定例会一般質問について

教育総務部関係では、4名の議員から質問がございました。うち1名の委員は質問を取り下げることになったことから、3名の委員の質問に対して答弁を行いました。答弁内容については資料の通りでございます。

(2) 令和5年11月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

教育委員会への当初は2件ございました。各課からご報告申し上げます。

●山内学務課長

学務課への投書は1件、内容は「PTA活動に市も介入してほしい」、「PTA役員の負担が過大である」、「教育委員会を中心に学校のPTA活動の見直しや改革をお願いしたい」、「立派な市役所を建てている場合ではない、教育にもっと予算を使ってほしい」というものでした。

本件につきましては、匿名での投書でございましたので、回答は不要の投書でございますが、こういった意見がありましたことを、今後の業務に役立ててまいりたいと考えております。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

指導課への投書は2件、1件目は学務課長より報告のあった内容と同じものでございます。2件目の内容は、「うさぎの飼育環境について」の投書でございました。こちらにつきましては、以前にも暑さ対策についての投書を頂いた方からのものでございまして、飼育環境が良くない。寒さ対策ができていない。うさぎが病気の状態なのではないかというご心配をいただく内容でした。これを受け、該当の学校長と連絡を取り、早急に動物病院に連れて行きました。診断結果は風邪気味とのことでしたが、大きな異常は見つかりませんでした。また、外での飼育については子どもたちが当番制で世話をしているところですが、今後は室内の飼育に切り替えることをご対応いただいておりますので、その旨を回答させていただきました。

●猪原学校教育部長

(1) 令和5年第4回八潮市議会定例会一般質問について

学校教育部関係では、11名の議員から質問がございました。答弁内容については資料の通りでございます。

(2) 市内小中学校の様子について

教職員事故防止については、校長会で交通事故、飲酒運転、わいせつ行為等を起こさないように話をさせていただきました。各学校では校長先生を中心に指

導し、教育活動を続けていただいていると考えております。また、子どもたちについても誰一人命を落とすことなく過ごすことができました。インフルエンザの流行はありましたが、多くの行事が計画通りに進みました。

最後に学校教育部としての年間の総括をお話しさせていただきます。

給食事業については、給食ビジョンの作成、食育の充実と衛生管理に力を入れました。

学習指導については、小中一貫教育推進部会を中心にボトムアップで授業を焦点化し、学校を支援しました。全国学力学習状況調査では、小学校が全国平均まで上がり、中学校が全国平均－7ポイントから－3ポイントへと確実に上がっている状況です。

新設校については、学校教育審議会で理念を検討し、校名決定に向けて進んでいます。

働き方改革については、各学校の取組の元、11月は超過勤務80時間以上の方がゼロになりました。

部活動地域移行については、今年度から中学校の全国大会でクラブチームの参加が可能となる種目が増えてきておりますが、本市としては各種目の代表に集まってもらい、意見交換会を実施しました。実状を把握し、来年度以降について現在検討しています。

特認校制度については、今年度は新たに八條中学校も導入しました。結果として、令和6年度当初は八條北小新1年1名、八條中新1年1名、新3年1名が入学する予定です。

不登校非行問題行動については、依然として「いじめ事案」は発生しています。不登校児童生徒の数も減少してはおりませんが、一つ一つ丁寧に対応しながら不登校解消に取り組んでいます。

●柳町教育総務課長

(1) 令和6年度定例教育委員会の開催予定(案)について

令和6年度の定例教育委員会につきましては、資料に記載の日程で開催を予定しております。都合の悪い日程がございましたら、教育総務課までご連絡いただければと思います。

●小林社会教育課長

(1) 令和6年八潮市成人式の開催について

令和6年1月8日成人の日に、令和6年八潮市成人式を挙行いたします。本年も例年どおり、成人式実行委員会を組織し、成人式の企画・運営に参加していただいたところでございます。また、本年の成人式の対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方で、令和5年12月1日時点で案内状を発送した対象者数は、男性が440人、女性が382人の合計822人となっています。なお、式典につきましては、八潮メセナのホールを会場に、中学校区ごとに第1部を八潮中学校区、八條中学校区、八幡中学校区、第2部を大原中学校区と潮止中学校区の2部制により開催を致します。また、式典終了後には、実行委員が自主制作した、中学時代の恩師ビデオレターを放映する予定となっております。

●高山文化財保護課長

(1) 資料活用事業「昔の道具とくらし」の実施結果について

資料活用事業「昔の道具とくらし」は、小学校3年生の社会科授業の支援を目的として実施しています。

事業内容としましては、クラス単位で児童を受入れ、資料館付設の古民家を教室に「カマドの焚き付け体験」、「米作り道具の学習と千歯こきを使った脱穀体験」、「糸車での糸つむぎ体験」等を学習メニューとして提供しています。

今年度につきましては10月12日から12月1日の期間に実施いたしました。参加学校数は9校で、20クラス506名の児童を受け入れました。

事業終了後、学校から寄せられた感想としましては、「実際に古民家で昔の暮らしを体験することで、社会科で学習したことを実感として学ぶことができた。」
「社会の副読本だけでは分からないことや伝わらないことを実際に見て体験でき、学習が深まりました。」等があり、当初の事業目的を概ね達成できたものと考えております。

続きまして次第にはございませんが、関連事業としてご報告させていただきます。出前授業「昔の暮らしと糸車」でございます。

潮止小学校に関しましては学校行事の都合により、資料館に来館することが困難ということから、職員が直接学校へ出向く出前授業を12月7日・8日に実施いたしました。

参加人数は、3年生4クラス110人で、糸車の体験と昔の暮らしの解説を行いました。事業終了後、学校から寄せられた感想としましては、「興味を持ち学習意欲を高めることに対して、十分な成果をあげることができたように感じている。」、参加児童の感想としましては「糸を作ったりさわったりするには初めてで、とてもきちょうなたいけんをしたなと思います。昔の人はこんなに大変なんだと学びました。」等があり、児童たちの学びにつながったものと考えております。

(2) 体験講座「わら細工づくり」の実施結果について

11月の体験講座では、小学生以上を対象に正月飾りの製作体験を行いました。

わらを編んで縁起物の亀を作る体験と正月行事本来の意味や変遷を紹介し、長く家庭で伝えられてきた行事の継承を目的としました。

参加者は、小学生3名、一般成人15名の計18名でした。

講座終了後に寄せられた参加者の感想も概ね好評で、普段何気なく行っている伝統行事について、あらためて見つめ直すよい機会となったのではないかと考えております。

●山内学務課長

(1) 学校給食について

学務課からは、学校給食について、2点ご説明申し上げます。

1点目は、「八潮市学校給食ビジョン(案)に対する意見募集の結果について」でございます。

学校給食ビジョン(案)に対する意見を募集した期間は、「本年10月10日から11月8日まで」の30日間で行いました。

意見を提出していただいた方は、合計で192名、この内訳は記載のとおりでございます。多くが「市内に住所を有する方」で行いました。

次に、意見の件数といたしましては、合計で「399件」で行いました。

お一人の方が、平均で2件程度の意見をいただいているような計算となります。

また、その意見の分類といたしましては、資料の裏面に記載がございますが、「『その他』を含めまして26の分類」としたところでございます。

この26の分類でございますが、頂いたそれぞれの意見を全て分析いたしまして、それぞれの分類に分けたところでございまして、基本的には、複数の意見があったもの、あるいは、ビジョンの内容に深く関わるようなものが

「25の分類」にまとめておりまして、さらに「その他」の分類を設けたところでございます。

また、それぞれの分類には、「反映区分」という項目を設けておりまして、このページの一番下でございますが、「A 意見を反映し、案を修正する(した)」

「B すでに案で対応している」、「C 案の修正はしないが、実施段階で参考としていく」、「D 意見を反映できなかった（しない）」、「E その他」ということで、原則として、どのように反映するのかを分類ごとに示しております。

なお、「E その他」は、反映ができないような意見に対するものでございまして、「子育て全般」に関する意見であったり、「子どものアレルギーについて現在の学校でも可能なことを回答してください」、「シャケの骨をできる限り抜いてほしい」、「学校でのいじめに関すること」といったような、学校給食ビジョンと直接的に関係ない、あるいは反映しづらいものでございました。

一番意見が多かったのが「温かく美味しい給食」で135件でございました。

その次が、「自校方式」を求める意見で、133件ございました。

実際にいただいた意見といたしましては、「温かく美味しい自校方式の調理室を全ての学校に作ってほしい」といった内容が非常に多くありまして、このような場合には、「温かく美味しい給食」と「自校方式」でそれぞれ1件ずつ意見をいただいたということでカウントしております。

55ページをお開きいただきたいのですが、NO64をご覧くださいと、意見では、「温かく美味しい自校方式の調理室を全ての学校に作ってください」とございます。右の欄をご覧くださいますと、括弧で【温かくおいしい給食：C】とありました、その下には括弧で【自校方式：D】とございます。

こういった形で、分類ごとに用意した「市の対応・考え方」を、それぞれの意見に対して記載をしている、というものでございます。

こちらの資料につきましては、後ほど、お時間のある時にご覧いただければと存じます。

その他の意見といたしましては、NO3では「公設センター推奨」という意見をいただきました。また、多かった意見といたしましては、NO17の「アレルギー対応」が26件、NO16の「災害時の対応」が18件、NO18の「安全・安心」が17件となっております。

反映区分に移りますと、Aの「意見を反映し、案を修正する（した）」という対応はなく、0件でございます。

Bの「すでに案で対応している」は41件、Cの「案の修正はしないが、実施段階で参考としていく」が189件、温かく美味しい給食を求める意見はこの反映区分となります。Dの「意見を反映できなかった（しない）」が166件、自校方式を求める意見はこの反映区分となります。Eの「その他」は4件でございます。

以上のとおり今回のパブリックコメントの結果をまとめたところでございます。今後、この内容を公表してまいりたいと考えておりますが、お気付きの点がございましたら後日でも構いませんので学務課までお寄せいただければと存じます。

続きまして、給食費の収納状況についてご説明申し上げます。

資料の表面は、小学校の4月から11月までの「収納額・未納額・収納率」の一覧となっております。右下にございます収納率は「99.82%」でございます。また資料の裏面は、中学校の一覧となっており、収納率は「98.70%」となっております。

このページの右下が、今年度11月までの、小中学校を合算した「まとめ」でございます。収納率は「99.43%」、未納額は「1,066,513円」。

現在のところ、収納状況につきましては、概ね順調に進んでいるところでございます。2学期の学校給食は12月20日が最終日でございました。3学期の学校給食の開始日は1月11日となっております。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和5年11・12月の事件・事故報告について

事件・事故報告は6件、内訳は、火遊びが1件、虐待疑いが1件、校内での負傷・疾病が2件、いじめが1件、情報提供が1件でございました。

火遊びについては写真がございましたので、近隣の中学校に見ていただきましたが、高校生以上ではないかということで進めているところでございます。

校内での負傷・疾病のうち1件は救急搬送となるもので、柔道の授業後にふらふらしている様子があったことから念のため救急搬送を行いました。特に問題はありませんでした。

いじめについては、学校側で丁寧に対応していただき双方納得のうえ学校生活を送っております。

情報提供については、バイクに乗車した卒業生が学校の近くで声をかけているという事案がありました。

このところ、市外で落ち着かない状況があるという情報も入っておりますので、近隣市や警察と連携を取りながら丁寧に対応してまいります。

(2) 令和5年度八潮市学習塾との連携事業“8ゼミ”について

先日プロポーザルを実施し業者が決定しましたので、資料のとおり実施に向けて準備を進めているところでございます。

事業の様子につきましては、実施後に改めてご報告させていただきます。

(3) 令和5年度八潮こども夢大学について

12月16日に最終回を実施し、12月20日に修了式を実施いたしました。

本来であれば報告書をもとにご報告をする予定でしたが、現在内容の精査中でございますので、資料が整い次第、改めてご報告させていただきます。

本事業につきましては、リピーターの多いものになっておりますので、今後も一層の内容の充実を図りながら進めて参りたいと考えております。

●松本学校 ICT 推進課長

(1) ICT 支援員の活動状況について

本市においては、市内各校の授業等での効果的な ICT 活用の支援のため、業務サービスにより ICT 支援員を配置しており、各校を訪問して支援を実施しております。

資料にもございますとおり、ICT 支援員は、ICT を活用した授業準備に関するアドバイスや、実際の授業における生徒の G I G A 端末操作補助などの基本的

な業務のほか、各校のホームページの作成支援、授業で使用するソフトウェア、機器の選択等に関する情報提供など、様々な支援を実施しております。

今回は ICT 支援員の活動の一部についてご紹介させていただきますが、まず、八潮中では、3年生の英語の授業において、各クラスを Google meet でつなぐとともに、「カフト」というクイズアプリを使用して英語のクイズ大会を実施し、大変好評であったとのことでした。

この「カフト」は、教育用ゲームのプラットフォームとして認知度の高いアプリとのことですが、当然ながらこのアプリの存在を知らない、または、知ってもどのように授業に導入してよいか分からないという先生方も多くいらっしゃると思いますので、先生方からのご相談を受け、ICT 支援員がこのようなアプリをご紹介し、実際の授業での活用方法まであわせてご説明することで、より短期間に、効率的な授業への導入が可能になるものと考えております。

また、資料の裏面では、大瀬小3年生のプログラミング授業の導入部分における支援の例をご紹介します。

これは、担当の先生からの「なぜプログラミングを勉強するのか。・プログラミングとは何か。といったことを伝える授業にしたい」というご意向を受け、授業の流れについて ICT 支援員と打ち合わせをさせていただいた事例となっております。

資料中にもありますが、「プログラミング」というと、まずは「コンピュータを使って何かする」という形式論に入ってしまうところを、ICT 支援員の助言もあり、一見コンピュータには関連のなさそうな話し合いや意見をまとめる体験学習を通して、プログラムそのものが一つの仕組みを体系化したものであり、プログラムの基本構成を考えることの重要性を分かりやすく、かつ実践的に解説する授業になったものと考えております。

各校における ICT の活用が進む一方で、先生方の間で ICT に関する得手・不得手といった個別の状況が生じ、知識や技術の差ができてしまうことで、そのま

ま授業における ICT の活用の差につながるという悪循環を避けるためにも、ICT 支援員の存在と活動は極めて重要であると認識しております。

今後も ICT 支援員による各校の先生方及び児童生徒への直接のサポートを継続することで、人的側面からの ICT 教育の底上げを行ってまいりたいと考えております。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○加藤教育長職務代理人

1 1 月は超過勤務 80 時間以上の方がゼロとの報告がありましたが、学校での管理はどのようにされているのでしょうか。

●猪原学校教育部長

学校ではカードを使用し、パソコンで管理をしています。

○加藤教育長職務代理人

部活動について、中学校の全国大会は種目によってクラブチームの参加を可能とするということでしたが、あくまでも種目別ということによろしいでしょうか。

●猪原学校教育部長

今年の夏の全国中学校大会から、特定の種目についてはクラブチームでの出場も可能となっております。スポーツ庁の方向性としては今後全種目でクラブチームの参加を可能とすることを目標としているようですが、実態としては難しい状況です。

○田口委員

部活動に入っていない生徒はどのくらいいるのでしょうか。

●猪原学校教育部長

正確な人数は把握しておりませんが、今は部活動への入部は強制ではないため入っていない生徒は多くいる状況です。

○井上教育長

成人式を2部制で開催する経緯について説明をお願いします。

●小林社会教育課長

コロナ前は1部制で開催しており、今回より2部制での開催へ変更させていただいた経緯でございますが、開催場所であるメセナホールの定員500名に対して、定員を超える人数を招待することが消防法に抵触するという問題がございました。この問題を解決するため、2部制での開催へ変更をさせていただきました。今後も800人程度が推移する予定となりますので、今後も2部制が定着するものと考えております。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。